

2018年度

### ホーチミンでの日本語教師ボランティア その3

(技能実習生)

実習生は全員、ITM の寮に住み、朝5時半に起き、ラジオ体操をしてから、朝食や校舎の掃除をします。授業は午前8時～午後4時で、授業のあとは自由時間ですが、原則として



朝、昼、夕と3回のラジオ体操

午後7時までに寮に帰らなければならない、消灯は11時です。朝食と昼食はITMの食堂で食べ、夕食は外食が多いようです。ITMの近くに安価な雑貨や食料品を売る市場があり、生活に必要なものはそこで買っているようです。食堂やカフェも数店あります。

実習生の殆どは18～28歳でベトナムのいろんな所から来ています。ホーチミン出身の人もいますが、地方の農家の子が多いようです。大半は高校を卒業して1～3年で、大学を卒業した人もいます。中には既婚で子供がいる人や日本に行く時期や働く場所は異なるが、夫婦で実習生になる人や兄弟、姉妹の誰かが実習生として日本や韓国にいる人もいます。



教室の様子

子供をベトナムに置いて、日本に行くのは、特に母親にとってさぞ辛いことと想像しますが、本人は意外とアッケラカンとした様子です。中国で子供を老いた父母に任せ、夫婦で都会に出稼ぎに行くのをテレビで見ましたが、その時の中国人夫婦もアッケラカンとした様子で話をしていたのを思い出しました。ITMの実習生と子供を残して出稼ぎに行く中国人労働者は同じ気持ちかも知れません。



運動会での実習生の様子

ITMでカップルになる実習生も多いです。宿舎は男性と女性は簡単に区分けしてありますが、若い男女のカップルができるのはごく自然なことだと思います。自分の働く場所から恋人の住む所まで行くのにかかる時間や旅費などをよく聞かれます。ベトナムに比べ日本の交通

費は高いので安く行く方法なども聞いてきます。

出国の日が近づいてくると、日本語を上達させることよりも、自分が行く会社や日本での生活の方がより気になってくるようです。日本の冬の寒さと物価が高いことに不安を感じているようです。



荷物を運ぶ車と実習生/家族

出国の日の実習生の父母や空港まで荷物を運ぶ車で校庭は一杯になります。子どもを心配する親の気持ちはどこでも同じですね。



出国する実習生



出国する実習生 祖母 母

日本で働いて、ベトナムに戻ってきたら何になりたいかと聞くと、日本語の先生、ベトナムにある日本の会社で仕事をしたいと答える人が多いです。中には日本語の通訳になりたい人もいて、殆どの人は日本語と関わりのある仕事を希望しているようです。

校舎の階段踊り場に今まで実習生が派遣された場所が日本地図の上に都道府県別に掲示されています。働き先は愛知、福岡、広島が多く、意外と東京は少ないです。北海道や東北地方は気温が寒いせいか敬遠されているようです。

2012年9月～2018年9月の間、ITM ホーチミンから1、660人の技能実習生が、日本に行きましたが、その内64名が途中帰国し、30名が失踪しています。家庭の事情、健康上の問題などで自分の意に反し途中帰国することになった事は、ある程度理解できます。ただ、失踪した人は今どうしているのでしょうか。出国時に自分が失踪するなんて想像もしなかったと思います。

実習生全員が、日本での所定期間の仕事を終え、無事ベトナムに戻ってくることを願っています。